

プログラムの振り返り 10月26日及び11月5日から11日まで SDG Vocab | 12 – 持続可能な開発のための教育(ESD)



● 知識

ESDに関するオンライン研修を通じて、私はグローバルな課題に取り組むために必要な知識、能力、心構えを全年齢の学習者に付与する教育について意味や概念、過程を学びました。またそこでは環境や社会全体に対する責任が重視されていました。2024年11月5日から11日まで、ESDを実施校を見学しました。訪問先には蔵王小学校や仁方中学校、呉市教育委員会、そして学習者を中心に据えた教育に関わるネットワークがありました。訪問を通じて、探究学習及び実践的な学び、変化を生み出すことを目的とした学びを目標にすることができました。学校でESDを実施しているところを、実際に経験することでその概念をより明確に理解することができました。



10月26日

● ネットワーク

タイと日本の間で意見や教育経験を学び合うことで教育や文化において新たな視点を学び、広げることができました。また、このプロジェクト参加者のタイ教員の皆さんや活動に関わった日本の教員の皆さんとの間に友情が生まれ、ネットワークを広げる機会となりました。





アクションプラン

持続可能な開発のための教育を用いた
シリントーン高校1年生に向けた
日本語能力向上の授業の教育 (ESD)
PDCAサイクル

P
PLAN

1. 日本語科高校1年生における日本語教育の質の向上
2. グローバルな変革に不可欠な学生の能力を促進する
3. SDGsに沿った実践的な学習活動の作成

D
DO

- ESDに沿う活動設計
1. 教室内および録画した動画を使って、ロールプレイ用いた授業活動を行う。
 2. 日本料理の実習を行う。
 3. 日本の学校と年賀状を交換し、オンライン文化交流会を行う。
 4. 生徒たちにスリンジャスミンライスについてのショート動画を制作させる。

C
CHECK

生徒の実行度合いに基づく結果の評価
自己評価、相互評価、教師評価、保護者のフィードバックを通じて評価を行う。教師は、PLANの目標と実際の実施を比較することで、課題や原因を分析し、改善や調整が必要な点を特定する。

生徒から振り返りを集め、満足度や能力向上度合いについて調査し、学習成果に基づいて結果を評価する。

A
ACTION

問題の分析と原因の特定から結果を活用し、個々の成長を促進するとともに、学習者に適した指導方法に改善する。また、学習者の興味に沿うような活動を増やし、PLC (Professional Learning Community) ネットワークを拡大して、協力の機会を広げることがを計画する。そして、今回の生徒の成果は次世代の生徒に共有する。